



伝承野菜の勅次郎胡瓜



原木なめこ



地酒のやま富近岡

山形県の北部に位置する真室川町は、出羽山地などに囲まれる盆地であり、県内でも有数の豪雪地帯です。原木なめこは、国内でも有数の生産量を誇り、また、古くから伝えられてきた「伝承野菜」や山菜などの豊かな食文化が、今も地域に受け継がれています。

真室川町は、昭和63年に旧総和町と姉妹都市の盟約を締結しました。歴史的なつながりは、戦国武将である真室城主の鮭延秀綱が御家騒動で改易となり、徳川幕府最大の实力者である佐倉藩主の土井利勝に客分として迎えられたことに始まります。その後、利勝と共に古河藩に移り住みます。秀綱が亡くなった際、真室川から行動を共にする家臣たちが菩提寺として鮭延寺(大堤)を建立しました。

山形県真室川町

姉妹都市

四季の移り変わりが
美しいまち

姉妹都市



①町の木・花である「梅」②遠くに鳥海山を望む「野々村ため池」には、冬に白鳥などの渡り鳥が飛来してきます③秋になると女鰐山が美しく紅葉します



古河の歴史がつないだ



①氏家ゆうゆうパークにある約1.5kmの桜づつみは、多くの人でにぎわいます②「道の駅きつれがわ」では温泉施設やプロジェクションマッピングが楽しめます③2～3月に氏家雛めぐりが開催されます



旧喜連川町(現さくら市)は、昭和60年に旧古河市と姉妹都市の盟約を締結しました。歴史的なつながりは、五代古河公方足利義氏の娘である氏姫が喜連川国朝と結婚し、鎌倉公方に始まった足利一族が統一されたことに始まります。そして足利將軍家の血筋は、古河公方から喜連川足利家に現在も受け継がれています。さくら市は、奥州街道の宿場町として栄えていたため、各所に当時をしのばせる風情が残されるまちです。ほかに、市の名称になっている「桜」の名所が数多くあり、たくさんの人を楽しませています。また、市内にある喜連川温泉は、佐賀県嬉野温泉や島根県斐乃上温泉と共に「日本三大美肌の湯」と称されています。

栃木県さくら市

姉妹都市

清流と緑の自然に
恵まれたまち



温泉パン



銘菓の喜連川鮎



地酒の仙禽



氏家うどん